

婦 貞 の 野



〒990-0111
山形県尾花町尾花
尾花産直センター
TEL:014-592-1111
FAX:014-592-1112
営業時間:9:00~17:00
休 日:月 曜 日



おいしいパンの訪問販売
ありがとうございます。

毎週木曜日、「やねのうえのカチヨウ」
から、富山市神楽本町にある当社において
いたたき、パンの販売をしていただいで
います。往々に食福を販売する店が無いこと
もありますが、弊社に届くから色々なパン
の中から、好きな種類を選んで買えるため
大変好評で、販売の準備が整う前から、毎
先にと買いに来る人や、「毎週木曜日の登
録は、やねのうえのカチヨウのパン」と
楽しみにしている人もいます。

パンの販売は、毎週木曜日の11時ごろ
に、元気な挨拶から始まり、30分ほど行
われます。あんパンや、ガチヨウの贈りし
たパン、手拭コが入ったパンラッキー、コロ
ツケが入った濃厚パンなど、色々な珍しい
名前のパンを限定ながら、一生懸命にパ
ンを販売されているやねのうえのカチヨウ
の方と、「このパンは誰が入っているか、
甘さはどうか」など、楽しく話をしながら
購入させていただいています。この光景毎
私が靴替してきた時から当たり前の光景で
休むことなく毎週続いています。

そんなやねのうえのカチヨウの方へ感謝
したい気持ちから、ここ数年、会社のクリ
スマスパーティーに招待させていただきま
す。わすかですがクリスマスプレゼントを贈り
させていただいています。

これからも引き続きパンの販売を続けて
いただければと思います。

「尾花海上白物産直センター」尾花産直センター
尾花 健世

この日、何の日？

4/2

は世界自閉症啓発デー

発達障害啓発週間4月2日～8日
～自閉症を知っていますか？～



2007年12月18日、国連総会において、カタルーニャ国連正記の提案により、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」(World Autism Awareness Day)とすることが決議され、全世界の人々に自閉症を理解してもらう取り組みが行われています。世界自閉症啓発デーが定められたと同様に、その日は「青い服を着て、青い物を持って、青いライトで夜を照らして、家の灯りを青く点滅させて、自閉症のことを周囲の人に知ってもらおう」という運動が展開されてきました。この運動が後に、世界の建物や橋、タワー等をブルーにライトアップしようとする運動へと広がって行きました。

わが国でも、世界自閉症啓発デーの4月2日から8日を発達障害啓発週間として、シンガポールの開催や東京タワーを始め、各地で「アトアト」のブルーライトアップ等の活動を行っています。

世界自閉症啓発デー



4月2日～8日

発達障害啓発週間

発達障害者支援センターありそ

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL 03-5561-1111

TEL 03-5561-1112

TEL 03-5561-1113

TEL 03-5561-1114

TEL 03-5561-1115

TEL 03-5561-1116

TEL 03-5561-1117

TEL 03-5561-1118

TEL 03-5561-1119

TEL 03-5561-1120

TEL 03-5561-1121

TEL 03-5561-1122

TEL 03-5561-1123

TEL 03-5561-1124

TEL 03-5561-1125

TEL 03-5561-1126

TEL 03-5561-1127

TEL 03-5561-1128

TEL 03-5561-1129

TEL 03-5561-1130

TEL 03-5561-1131

TEL 03-5561-1132

TEL 03-5561-1133

TEL 03-5561-1134

TEL 03-5561-1135

TEL 03-5561-1136

TEL 03-5561-1137

TEL 03-5561-1138

TEL 03-5561-1139

TEL 03-5561-1140

TEL 03-5561-1141

TEL 03-5561-1142

TEL 03-5561-1143

TEL 03-5561-1144

TEL 03-5561-1145

TEL 03-5561-1146

TEL 03-5561-1147

TEL 03-5561-1148

TEL 03-5561-1149

TEL 03-5561-1150

TEL 03-5561-1151

TEL 03-5561-1152

TEL 03-5561-1153

TEL 03-5561-1154

TEL 03-5561-1155

TEL 03-5561-1156

TEL 03-5561-1157

TEL 03-5561-1158

TEL 03-5561-1159

TEL 03-5561-1160

TEL 03-5561-1161

TEL 03-5561-1162

TEL 03-5561-1163

TEL 03-5561-1164

TEL 03-5561-1165

TEL 03-5561-1166

TEL 03-5561-1167

TEL 03-5561-1168

TEL 03-5561-1169

TEL 03-5561-1170

TEL 03-5561-1171

TEL 03-5561-1172

TEL 03-5561-1173

TEL 03-5561-1174

TEL 03-5561-1175

TEL 03-5561-1176

TEL 03-5561-1177

TEL 03-5561-1178

TEL 03-5561-1179

TEL 03-5561-1180

TEL 03-5561-1181

TEL 03-5561-1182

TEL 03-5561-1183

TEL 03-5561-1184

TEL 03-5561-1185

TEL 03-5561-1186

TEL 03-5561-1187

TEL 03-5561-1188

TEL 03-5561-1189

TEL 03-5561-1190

TEL 03-5561-1191

TEL 03-5561-1192

TEL 03-5561-1193

TEL 03-5561-1194

TEL 03-5561-1195

TEL 03-5561-1196

TEL 03-5561-1197

TEL 03-5561-1198

TEL 03-5561-1199

TEL 03-5561-1200

「いわなとやまふどう」

池田潤哉さん(うながね)の作品が、
「世界自閉症啓発デー」のポスターに！

2014年「世界自閉症啓発デー」のポスターには、めひの野郎の池田潤哉さんの絵「いわなとやまふどう」が使用されています。昨年の自閉症啓発デーの東京タワーブルーライトアップ企画の中のパネル作品展に、池田さんの絵が展示されました。その展示での反響が、一斉に、ぜひ、池田さんの絵をポスターに使わせて欲しい」という依頼があったのです。全国の代表として、啓発デーの「二題」となっていました。

ポスターの絵のみならず、池田さんの作品には、多くの人を魅了する、不思議な力があります。実際に、国内外の各種展覧会にも出品し、たくさんのおもてがいであります。でも、このような作品が世に出るまでにも、たくさんのお悩みやエピソードがありました。自閉症の世界の不思議な感覚をご紹介します。

実は、池田さん、描いた絵は猫と鯉を交差させたデザインで描いてしまっています。そのため、作品を残すためには、猫と鯉を交差させた絵、そして、描いてしまおうという「絵を二取り上げ」なければなりません。

また、どこに書き添えても、自分の作品だと分かる、書き下げて描いてしまおうという行動が繰り返されました。何となくして感涙できるようなと感嘆したものでした。

どうして、せっかく描いた絵を壊してしまうのがか？それが理解できない方もいらっしゃるかもしれません。でも、池田さんにとっては、絵を壊るまでが一連の行為であって、絵を破ることに「創作活動の終わり」を意味していたのです。池田さんにとって、描いた絵を壊ることで、絵を残すことは、絵を描く上での目的ではなかったのです。



作品制作中の池田さん。この日のモチーフは「アスバラカス」。

以前は毎日絵画製作を行っていた池田さんですが、現在は、森田・推志郎門での仕事をやる傍ら、週に1回の絵画製作で、制作活動を行っています。このスタイルになってから、作品を破く行為も減り、作品もどんどん増えつつあります。池田さん、想像できますか？この不思議な感覚……。

池田さんはこのエピソードを読んで、どのように思われますか？もし、興味を持っていただけたら、ぜひ、池田さんの作品をSNSにアップしてください。きっと、心を動かされると思います。不思議な感覚を持つ、自閉症の方々……そんな傍らのことを知ってもらいたい、それが世界自閉症啓発デーです。

4月2日、全世界がブルーに染まります。ブルーにライトアップされたタワーを見て、「あれってなあに？」と聞かれたら、池田さんぜひ、「あれは自閉症を知ってもらうための光なんだよ」と伝えてください。

発達障害者支援センターありそ
上野 亜由美

作業センターふじなみ

しいたけ直売始めました!



「作業センターふじなみ」駐車場の看板が目印です。しいたけ直売は売り切れ次第終了になるので、電話での注文が推奨です。

手まではめひの野園アンテナショップ（フレンドリーショップ希望）や、高山市協賛館の「地場もん館」などで販売されていた程度ですが、この度、作業センターふじなみでの直売を始めました。

「作業センターふじなみの野菜」といつまでも、まだご存じない方も多く、もっと多くの方に知っていただき、美味しい雑貨を味わっていただきたいという思いから、新たに看板を設置し、直売を始めました。

美味しい雑貨みだりの雑貨を「希望の方は、ぜひ「作業センターふじなみ」にお越しください。」



高級黒バックー400円



特用バックー500円



ちびっこしいたけー300円

お問い合わせ
作業センターふじなみバックセンター
高山市西金屋6694-4
☎(076)436-5737

至休日：土・日・祭日
販売時間
10:00～14:00（売り切れ次第終了）
お電話いただければ18:00まで
取り置きしておくことも可能です。

直売所では、朝に摘み取ったばかりの新鮮な雑貨を、グラム単位や金額単位で販売しています。生の雑貨以外に、人気のスライス干し雑貨もありです。

作業センターふじなみの雑貨は、何とんでも豪華なメニューで、焼く、煮る、炒める、揚げると、いずれの調理法でも美味しくいただけます。

今の時期は、煮物やおでん、鍋物で召し上がっても美味しいですが、雑貨そのものの雑貨をお楽しみいただくために、特く焼いてしょう油を付けて食べていただくのがお勧めです。

めひの野園祝！成人

今年めひの野園では、作業センターふじなみの藤井さん、小じいさんのご家族さんと、春の苑の石野和樹（いしのかずき）さんが成人されました。

藤井さんは、社労系作業棟屋上の地味軒屋ハウスから、雑貨した雑貨をベレット雑貨ハウスまで運搬する仕事をされています。石野さんは、春の苑で山歩きに出かけたり、旅行に出かけたりと、様々な行事に元気に参加されています。

成人おめでとう！おめでとうございます！



重いダンボールも軽々と運ぶ力持ちの藤井さんです。



春の苑での書き初めに挑戦する石野さん、みんなから愛されるキャラクターです。

氏名	年齢	職業	住所	備考
藤井 和樹	18	学生	高山市西金屋6694-4	
石野 和樹	18	学生	高山市西金屋6694-4	

親戚の皆さんを招いてお祝いする藤井さん、おめでとうございます。

走り続けるやぶなみ

飛騨地鶏カレーはい・か・が？



マイルド味(日口)

バターを使い、まろやかな味に仕上げたマイルド味。飛騨地鶏の旨みとの相性が抜群のカレーです。



スパイシー味(中辛)

コク深く、とり辛に仕上げたスパイシー味。とり辛といっても、それほど辛すぎることはなく、お子様でもお召し上がりいただけます。

満足する味、辛さ、色を追い求め...

ウォーム・ワークやぶなみ「食彩部門」では、「地鶏部門」で生産された飛騨地鶏肉を使ったカレーの開発を始めました。

製作期間は約半年。試行に試行を重ねて、ようやく完成した「飛騨地鶏カレー」には、食沢にも飛騨地鶏の鶏肉に加え、手羽元が丸ごと一本入っています！

スパイシー味と、マイルド味の2つの味で新登場の「飛騨地鶏カレー」。是非一度ご賞味ください！

ウォーム・ワークやぶなみの「飛騨地鶏カレー」は、めひの野山のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」で販売中！

1箱630円(消費税後は680円になります。)

お問い合わせ

ウォーム・ワークやぶなみ 食彩部門

担当：上田 智恵 0(076)434-5895



めひの野山農産の健康コーナー

「温故知新」

今回の職員



ウォーム・ワークやぶなみ主幹 寺岡 しのぶ(食彩部門担当)

半年に行われたを体験員研修会で、理事長が「福引とは、人を幸せにすることである。」と発した言葉を受けて、私は忘れていたことを思い返した。よりに、ハソと目が覚める思いがしました。「幸せってなんだろっ？」、「私達が果たしていく役割はなんだろっ？」と今一度考えさせられた一言でした。

今私は、やぶなみで利用者のみんなど力を合わせて、土質向上のために、めひの野山を代表する伝統の味、ふきのとうみそや、たくあんを作り続けています。思うように前に進まない時は、保護者の友、利用者、職員の方を借りて少しずつではありますが、土質向上に努めてきた次第です。

しかし、土質向上は人を幸せにする一助にすぎません。その先にあるものに目を向け取り組んでいかないと、人を幸せにすることは出来ない

のではないかと、理事長の言葉を受けてから、日々心に思っています。

私自身、めひの野山に勤めて今年で20年という節目の年を迎えます。これまで、たくさんご利用者と関わってきましたが、何か大切なことを置きっぱなしにしているように、反省させられる毎日です。

利用者のことを理解することには自信をどこではありません。単輪履も幅が広く、一人ひとりのニーズも全然異なります。だからこそ、これからは一人ひとりが安心して生活できる環境、働きやすい環境を提供していくことと、利用者にとのようにつけていけば、幸せな毎日を送ることが出来るのかということも、保護者の方の意見も伺いながら、共にベストな方法を見つけ、それを実現することが出来るように、一歩ずつ歩み寄り、日々精進していきたいと思っております。

HOPE!



めひの野瀬のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」から、採れたて新鮮なおすすめ商品の紹介をしているこのコーナー。今回は、気さくで明るい店員さんを紹介します!

今週のイチオシ!

「気さくで明るい店員」

素敵な笑顔・・・0円



中田 昌美さん

本曜日の10時から16時まで販売員をしています。
お客様にお勧めした商品を、後日「あー、あの商品よかったわー」と、また買いに来てくださるととても嬉しいです。
假期は一人暮らしのお年寄りが多い町、いつも来てくださる年配のお客様との交流がとても楽しいです。

◆おすすめ商品
なんといってもめひの野瀬の味噌(味噌玉)。おいしくて安心安全!我が家にも必ずあります。



沖村 富美子さん

水曜日の10時から16時までの販売員です。
人と話をするのが大好き!希望のお店に来てくださる「人生の先輩方」との会話が楽しくてしょうがなく、一生販売員をしたいくらい!
ただ、計算が苦手なので、お金の扱いに苦戦しています。間違いないのが毎週大賞!

◆おすすめ商品
作業センターふじなみの「ちびっこしいたけ」!おちなくでもいいから手間も省けるし、長期保存も可能なによりもおいしい!



フレンドリーショップ希望
〒830-0195 富山市民会館 7026
(アルビス前新築店敷地内)
☎(076)434-2040

希望ニュース「季節限定!たくあん販売中!」

喜ながらの懐かしい味のたくあんが、季節限定で販売中です。めひの野瀬を代表するロングセラー商品で、開設当初から、変わらない味で作られています。毎年楽しみにしてくださっている方も多い人気商品です。
富山県北代産の美味しい大根を、米ぬか・ガラメ・醤油・酢・塩・唐辛子で1本ずつ丁寧に漬けていただきました。もちろん無添加で、昔ながらの自然な味わいをお楽しみください。
フレンドリーショップ希望、地場もん原館本店等で販売中です。(1本:250円)



(販売促進委員会 福岡 千香)

とっつとっあま・あらの

クリスマス会・忘年会特集

昨年末、各事業所でクリスマス会・忘年会が開催されました！賑やかな写真がたくさん回りましたので、ご紹介します！

春の苑 2013年12月10日(火)

春の苑クリスマス会&忘年会を行いました。やぶなみのオードブルやガチョウのピザ、ゼンドイツ子をお腹いっぱい食べたあとで、プロマジシャンのHARUKIさんによるマジックショーを鑑賞しました。最後にサンタさんから一人ずつプレゼントをもらい、皆さんとても楽しそうでした。



梨の木苑 2013年12月1日(日)

梨の木苑の皆さんは、立山温泉ホテルで一泊し、宴会やお風呂を楽しんできました。忙しい日常を忘れ、ゆっくり時間をのびさせていただきました。



いわせの 2013年12月18日(木)

いわせのでは堀真先生や、富山国際大学の学生さんも招いてクリスマス会を開きました。学生さんたちにアカペラの素敵な歌声を披露してもらったり、皆さんもカラオケを歌ったりして楽しみました。



やぶなみ 2013年12月25日(水)

12月25日にクリスマス会をしました。親戚をお招きして食彩部門お手製の精進地獄の恵掛けや、お寿司、ケーキを食べ、みんな満足気な様子でした。



しいたけくん

第2回 戦いは終わりましたが、もういっしょに楽しもう！



P.5 29 後ろV字五輪でー (編・おかちん)

やねのうえのガチョウ

2013年12月7日(土)

呉羽駅から電車に乗って小村駅まで移動して、クアトロブームでカラオケとボウリングに分かれて楽しんだ後は、ココスで夕食を食べました。



作業センターふじなみ

2013年11月30日(土)

一年の労をねぎらい、そして、年末のしいたけ出荷の準備期に向けて頑張れるよう、豪華でおいしい料理と飲み物をたくさん用意しました。食後は楽しみにしていたカラオケ大会が始まり、好きな歌を歌ったり踊ったりしました。昇っている人も「いいぞー」、「うまいねー」などと声援を送り、笑いや拍手で、大いに盛り上がりました。

利用者からは「楽しかった！」「美味しかった！」「もっと歌いたかった！」の声を多く聞くことができ、楽しいひと時を過ごすことができました。



みしまの工房

2013年12月18日(水)

みしまの工房は毎年恒例、高調ハイブでの忘年会です。「みしまの工房特別メニュー」をお楽しみいただき、カラオケで盛り上がりました。食後のコーヒーとデザートも忘れず、しっかり食べてきました。



各事業所の忘年会・クリスマス会は、「NHK 熊本たすけあい」より加成をいただき、開催されました。ありがとうございました。

「NHK 熊本たすけあい」は、共同募金を通じて、国内の福祉施設や支援を必要とする方々のために役立てられています。

「御川御願堂」による作業センター ふじなみの「ベレットストーブ」 整備完了

御川御願堂より助成金をいただき、作業センターふじなみの食事に「ベレットストーブ」を整備いたしました。

これにより、当事業所が行っている講座推進一貫事業で発生する燃費増額を再活用することでエネルギーの有効利用が出来る。また利用者の休職や発症時に暖かい空間を提供できるようになりました。ここに事業完了の報告を申し上げます。ともに、感謝の意を表します。

記

総事業費 五九〇、六二〇円
助成金額 三〇〇、〇〇〇円



第21回富山新聞社杯争奪 兵羽野球リーグ戦 第3位

ゆひの野原野球部は、共済地区の野球チームで争われた第21回富山新聞社杯争奪兵羽野球リーグ戦において、6勝2敗で第3位の成績を収めました。また、河合信人選手が「最多勝利選手賞」に輝きました。



最多勝利選手賞に輝いた河合選手

平成二十五年富山県「北日本放送」 社会福祉事業基金による物品贈呈

この度、富山県「北日本放送」社会福祉事業基金より物品贈呈が行われ、うさかぎにリハビリメントバイクとアングルマットが贈呈されました。利用者の健康増進のために使わせていただきます。ありがとうございます。



後援者の声

「日等リハビリ施設」で活動中、感謝状
林 山 いち子 富山市
川 下 子 射水市

後援会様窓口電話番号
北陸銀行五福支店 076-821-140
普通預金口座番号
ゆひの野原地区

ご寄付ありがとうございました

（日等）ゆひの野原地区ご寄付
西余屋直史
生藤理彦
富山県社会福祉協議会
石 嶺 幸 史
富山国際大学
富山大学
今井 哲 敏
富山市
富山市
富山市
富山市
富山市
富山市

来 訪

（日等）リハビリ施設で活動中、感謝状
富山県立しらとり支援学校 酒井孝哲
厚生労働省 社会・援護局 日誌 正文
鹿アトランステム 土谷 武
第一生命保険 和田 英子
北陸のこころセンター 藤田 孝
北陸電力 富山支店 般若 真吾
日通商事 富山支店 安藤 隆史
富山市議会議員 南 俊正
上地軍団副団長 井井 隆
北陸電力 本社 西人 小水 聡
鹿アトランスセンター 高田 寛
鹿アトランスセンター 佐藤 雅和
手レ産産 平島 輝
日本海産産 山野 清昭 太田 忠寛
早川 隆志・増岡 伸一 宮崎 茂樹
東洋ゴム北陸販売部 林 隆一
北陸銀行五福支店 徳川 康
佐友生産 大田 善隆子 山崎 敦子
北陸銀行五福支店 藤田 裕介

北陸ビジネス大規模専門学校 大塚 三穂 富山市
有 岡 美恵子 富山市
愛 谷 和 夫 富山市
長 井 進 治 富山市
ゆひの野原保護者会 富山市

寄付金額窓口電話番号
北陸銀行五福支店 076-821-140
普通預金口座番号
社会福祉法人 ゆひの野原

編集後記

広報「ゆひの野」が、次号で百回目を迎える。「創刊号は、「うさかぎ」が開設して半年後の昭和五十八年十月一日発行されているので、尾かけ三十一号での百回である。

今あらためて創刊号を読み返してみると、現在のものと比べて、内容、編集等がかなり稚拙なものであったのだなと思わせる。近頃は、広報委員会が中心となって、盛り上げた編集になっており、かなり読みごたえ、見ごたえのある広報誌になっているのではないかと自負している。

そんな「国民の野」に今回、「野竹」というコーナーを復活させた。職員のパブリシティという形で、「各々の雑感を綴っていただく」と思っただけで、

わが前の いさご野竹 吹く風の音のかけき、この夕べから
万葉集のいろいろな動物の中で、美濃であをといわれている、大蛇は蛇の「春慈船三首」の中の一首である。グループホーム「野竹寮」のゆひの山まともなっているこの歌は、ちやうど春の春の息を、家持が奈良の自宅から、何とも物悲しい一首である。「野竹」が、とこしえに咲いていけることを願っている。

（日記）